

福島県立二本松工業高等学校



同窓会会報

第8号

平成21年3月1日

発行所

福島県立二本松工業高等学校同窓会

〒964-0937

福島県二本松市榎戸1丁目58ノ2

TEL 0243-23-0960

FAX 0243-22-7388

発行者 佐藤忠司

印刷 株式会社丸井文社

発光部数 4,500部



校歌

詞 草野心平
曲 小山清茂

一日輪は 天にかがやき
阿武隈は 光る動脈
ここ榎戸の 美しき地に
日毎集る われら若人
腕組まん ともに
学ばなん ともに
貞善美 ひたに求めて
ああ母校 二本松
われらは愛す
われらが母校
二新しく 時はめぐりて
安達太良に 白き雲沸く
ここ榎戸の 台地より見る
あの高きこそ われらが理想
眉あげん ともに
はげまなん ともに
大いなる未来 ひたに望みて
ああ母校 二本松
われらは愛す
われらが母校

C O N T E N T S

同窓会会長挨拶	2
学校長挨拶	3
学校近況（生徒会・部活動大会成績報告）	4
学校近況（進路状況）	5
同窓会だより	6
母校だより	8

■ 松工テレフォンサービス
(0243) 62-3330

■ 松工Eメールアドレス
netmaster@nihonmatsu-th.fks.ed.jp

■ 松工ホームページアドレス
<http://www.nihonmatsu-th.fks.ed.jp>

同窓会会長挨拶



佐藤 忠司

プロフィール

昭和四十年年度卒業土木科一期生
日本国有鉄道盛岡工務局に就職・
東日本旅客鉄道・東北工務事務
所を昨年一月に定年退職し、仙建
工業福島支店に嘱託として勤務。
二ヶ月ごとのミニ同級会を楽し
んでおります。

「激動の時代」

早春の候、会員の皆様には益々御健勝のこととお喜び申し上げます。

アメリカのサブプライムローン破綻を契機に「カジノ経済」の破綻・金融危機に端を発した景気悪化・輸出の減少による操業の縮小による雇用の悪化が急激に現れています。

厚生労働省が十二月二十五日、企業からの聞き取り調査の結果を発

表しました。平成二十一年三月ま

でに派遣・期間工などの非正規労働

者で解雇・雇い止めで職を失う人が

八万五千十二人に達することが解り

ました。福島県では全国で三番目の

規模で三千八百五十六人が失業した

か、失業の見込みであることがわか

りました。

また企業からの採用内定取り

消された今年度の新卒者が全国

で七百六十九人にのぼることも発

表した調査でわかりました。企業

百七十二社で大学生が六百三十二人、高校生百三十七人が内定を失いました。大企業の社会的責務と政治での与野党が知恵を出し合って対策をまとめてもらいたいものです。

食の安全でも昨年から偽装問題、汚染米の問題、とくに輸出中心経済のありでの食料自給率が三十九%、穀物自給率が二十七%という以上菜水準まで下がってしまつた農業問題。

医療の問題でも「後期高齢者医療制度」は私達もすぐ近い将来身に迫ってくる問題です。

安心して働き、安心して住み、安心して食べられるそんな生活を取り戻して行きたいものです。

そんな時在校生の頑張り、第一種電気工事士試験に四人の合格、第二種電気工事士試験に三十人の合格、コンピュータネットワークのプロ資格工事担任者に八人の合格、二級ボイラー技士に五人の合格、福島県高

校生ものづくりコンテスト二〇〇八測量部門に優勝し東北大会出場と卒業生にも勇気と刺激を与えるものとなっています。

最後に昭和三十七年四月一日福島県立二本松工業高等学校として開校。安達高校を仮校舎として機械、電気各一学級で発足し、同年四月十日第一回入学式を挙行して以来、今年は一万人目の卒業生を迎えます。

松工五十周年記念事業に向け学校各位とPTA関係者との連携を蜜にし、同窓会の責務を果たして行きたいと思ひます。

皆様方のご健勝を祈念し挨拶いたします。



学 校 長 挨拶



猪俣 薫

プロフィール

喜多方生まれの喜多方育ち。専門教科は化学工学。趣味は囲碁・将棋等（負けず嫌い?）。会津工業高では窯業・セラミックスを担当。平工業高、堀工業高、小高工業高に勤務し、平成二十年四月に本校に着任、現在に至る。

「同窓会は父の愛」

同窓会の皆様には常日頃より本校の教育にご理解をいただき感謝申し上げます。さて、菅野吉三第四代同窓会長が平成二十年八月の総会をもって退任されました。菅野様には、本校の学科改編の推進並びに実習棟の新築という過渡期の中、二期四年間に渡り同窓会長として多方面にご尽力いただきました。改めて御礼申し上げます。

菅野様の後を引き継がれ、新たに佐藤忠司第五代同窓会長が誕生いたしました。新組織の同窓会におか

れまして本校発展にお力添えいただけますようお願い申し上げます。

さて、「教育には二つの愛が必要である」といわれます。それは『母の愛』と『父の愛』です。常日頃から接触している母親は子供達の全てを受け入れます。子供が喜んでるとき一緒に笑い、子供が「お腹が痛い」と泣けばその痛みを自分のことのように受け止めるので、母の愛は受諾の愛、許容の愛といえます。一方父親は、子供が調子に乗り過ぎたときや悩んでいるとき、子供の要求を拒否したり悩みを聞いたりしてその解決に貢献します。それ故、父の愛は拒絶の愛、威厳の愛といえます。

学校の外部団体として同窓会とPTAの二つが挙げられ、学校の両輪ともいわれます。PTAと学校の関係は、学校がお子様をお預かりしていることから総会や方部会等々、普段から学校運営に必要ないろいろな項目（学校の要求）についてご尽力いただいております。そういった観点から学校にとってPTAは『母の愛』に相当するものといえます。

一方、同窓会の皆様とは特別な事情がない限り、例年、理事会や総会のみ、また管理職や同窓会係のみのお付き合いになり、学校の一般職員との交流は限られたものになりがちですが、いざ対外的な問題が生じたときや大きな行事の際には、広い視野に立つて意見をいただき、その実施に前向きにご尽力いただくことになりました。そう考えますと、同窓会は『父の愛』といえるのではないのでしょうか。

とはいえ、本校の活動に無関心な同窓会であつたり、都合のいいときだけ同窓会に頼る学校だったので、好ましい関係は得られません。学校からは教育方針や生徒の活躍等々を定期的に発信し、同窓会からは学校内外の活動にご理解をいただき、温かいご指導を賜りたいと考え

ております。

前置きが長くなりました。本校は、時代及び地域の要請により昭和三十七年四月、産業教育の振興と中堅技術者の育成を目指し、歴史ある二本松市の榎戸の地に創立されました。以来四十有数年、卒業生の数も今年度の三年生が卒業すること一万人を超えます。本校同窓生は一大勢力であり、工業界はもとより様々な分野で活躍しております。そして三年後の平成二十四年度には大きな区切りとなる『創立五十周年』を迎えます。この件につきまして、「そろそろ検討すべき時期に来てい

るのではないか」といった意見が諸会合等でも出てきているようです。周年行事のような大きなイベントには父の愛、同窓会のお力が是非必要です。まして半世紀の総まとめ的なものであるとなればなおさらです。いろいろな企画を暖めておられる同窓生の皆様もいらつしやるかと存じます。これからの理事会や総会等で議題としてお取り上げいただき、ご検討いただければ幸いです。『創立五十周年』の件も含め、今後とも本校の活動へご理解をいただくとともに、皆様のご協力をお願い申し上げます。

学校近況

外部に貢献する存在としての生徒会

生徒会顧問 佐々木 一天



本校生徒会は、年度末に行われる県内の各高校の生徒会との合同研修に、

平成十三年度から参加している。毎年研修を受けるたびに、他校生徒会の充実した活動内容から刺激を受けると同時に、「今年こそは自分たちも何かを…」という焦燥感を抱き続けていた。

これまでの生徒会活動は、生徒会行事の運営や校内の美化活動などが主だったものになっており、「内部に留まらない活動をしていきたい」という反省事項が生徒会役員から出されることも多かった。最寄り駅（二本松駅、杉田駅など）の清掃やリリーバーズ（警察署と連携して行うボランティア活動）などの活動はあったが、「外部との係わり合いを持つ活



坂の駅づくり



台湾高校生との交流

動をより増やしていきたい」という意識が強くなっていった。そこで今年度は、役員それぞれが「外部に貢献する存在としての生徒会」をキーワードとして意識の中におき、活動のあり方を模索していくことになったのである。

さて今年度を振り返ってみると、幸運にも「外部」に貢献する機会に恵まれた年度であったと言える。十一月から十二月にかけて、亀谷まちづくり協議会が中心となって行った「坂の駅づくり」へ参加する機会をいただいた。さらに十二月十五日には、台湾から来日した台北市立松山高級工農職業学校の修学旅行隊との交流を行うことができたのである。「坂の駅づくり」は「地域社会への貢献」という形で、「台湾の高校生との交流」は「日台国際交流への貢献」という形で、ともに微力ではあるが、「外部」へ貢献することができたのではないだろうか。ことができたと言えよう。

今年度の活動を単発的なものとして終わらせるのではなく一つの出発点として位置づけ、来年度以降も継続して「外部に貢献する存在としての生徒会」を具現化するべく、生徒会活動を展開していきたいと考えている。



台湾高校生との交流

平成20年度 各種大会参加記録

◆野球部

- 第60回春季東北地区高等学校野球福島県大会
県北支部予選 第5位（県大会出場）
- 第60回秋季東北地区高等学校野球福島県大会
県北支部予選 敗者復活3回戦敗退
- 第19回秋季県北支部 高等学校野球選手権大会
1回戦敗退

◆バスケットボール部

- インターハイ県北予選
代表決定戦 松工 74-62 保原（県大会出場）
- 総体県北予選
2回戦 松工 40-81 安達
- 新人戦
代表決定戦 松工 56-124 東陵

◆卓球部

- 高校体育大会県北予選
男子団体 2回戦敗退
女子団体 1回戦敗退
- 県総体県大会
男子団体 松工 0-3 喜多芳東
- 高校新人体育大会県大会
男子団体 松工 0-3 安積
男子シングルス 朝倉 涼（2年5組）2回戦敗退

◆サッカー部

- 県高校総合体育大会県予選
2回戦 松工 0-5 福島工業
- 第87回全国高等学校サッカー選手権福島県大会2次大会
4回戦 松工 0-1 相馬
- 県高校新人体育大会県北予選
代表決定戦 松工 1-2 福島南

◆陸上競技部

- 福島県高校体育大会県北地区大会
走り幅跳 2位 3年1組 菊地宏育
100mハードル 4位 3年3組 三浦知美
- 福島県総合体育大会県北地区大会
100m 2位 1年5組 菊地純平
走り幅跳 2位 3年1組 菊地宏育
100mハードル 4位 3年3組 三浦知美
少年女子100mハードル 4位 1年3組 斎藤 茜

- 新人大会県大会
4×100mリレー 準決勝進出
- 高校駅伝大会 19位

◆山岳部

- 第22回東北地区高等学校登山大会 参加
- 第16回東北地区高等学校新人登山大会 参加

○第44回県高等学校新人登山大会 参加

◆水泳部

- 第42回県北高水泳競技大会
自由形 50m 5位 根本信幸

◆柔道部

- インターハイ柔道県大会
団体予選リーグ 松工 4-1 須賀川
松工 1-4 勿来工
90kg級 1回戦敗退 中山 剛
- 県総体柔道県大会
先鋒の部 2回戦敗退 根本高明
中堅の部 2回戦敗退 二階堂凌
シ 2回戦敗退 中山 剛
副将の部 1回戦敗退 安斎裕太
- 県高校新人戦県大会
団体予選リーグ 松工 0-4 相馬東
松工 0-5 学法石川
個人 66kg級 1回戦敗退 根本高明

◆弓道部

- インターハイ県北地区予選会
國分宏隆（県大会出場）
- 県総体
男子個人近の競技 4位 國分宏隆
- 新人戦県北地区予選
男子団体 3位（県大会出場）
- 新人戦県大会
男子団体 予選通過 1回戦敗退

◆テニス部

- 高等学校総合体育大会県北地区予選
男子団体 1回戦敗退
- 高校新人大会県北予選
男子団体Aリーグ 6位

◆バドミントン部

- インターハイ県北地区大会
男子ダブルス 武藤和也・武藤幸幸 1位（県大会出場）
佐藤祐貴・遠藤英気 2位（県大会出場）
- 男子シングルス 武藤幸幸 1位（県大会出場）
遠藤英気 3位（県大会出場）
- インターハイ県大会
男子団体 3位
- 県総体県北地区大会
男子ダブルス 武藤和也・武藤幸幸 1位（県大会出場）
佐藤祐貴・遠藤英気 2位（県大会出場）
男子シングルス 武藤幸幸 1位（県大会出場）
遠藤英気 2位（県大会出場）

○新人戦県大会

- 男子団体 3位（東北大会出場）
- 男子ダブルス 國分雄介・武藤幸幸 ベスト16
- 男子シングルス 武藤幸幸 ベスト16

◆カヌー部

- 平成20年度第11回東北高等学校カヌーフラットウォーターレーシング選手権大会
500M K-1（FB）6位 川村也実
K-4 7位 川村也実・服部謙太
齋藤吉徳・高野裕樹
C-1 6位 國嶋 匠
8位 阿曾洗樹
C-2 6位 阿曾洗樹・國嶋 匠
- 平成20年度東北カヌー選手権大会
500M K-1 8位 川村也実
K-2 6位 齋藤吉徳
K-4 4位 服部謙太・齋藤吉徳
川村也実・高野裕樹

○第35回東北総合体育大会カヌー競技

- 500M C-2 3位 國嶋 匠・阿曾洗樹
- 2008カヌーフラットウォーターレーシングジュニア海外派遣選手選考会
1000M K-2 3位 川村也実・菅野誠一
C-2（FB）3位 阿曾洗樹・國嶋 匠
500M K-2 4位 川村也実・菅野誠一
C-2（FB）1位 阿曾洗樹・國嶋 匠

- 文部科学大臣杯平成20年度日本フラットウォーターレーシングジュニア選手権大会
500M K-4 3位 川村也実・齋藤吉徳
服部謙太・菅野誠一

- C-2 5位 阿曾洗樹・國嶋 匠

◆ソフトテニス部

- 福島県高等学校体育大会
団体戦 2回戦敗退
個人戦 大内・香野ペア 1回戦敗退
- 福島県総合体育大会
個人戦 大内・寺島ペア 3回戦敗退（ベスト32）
成田・香野ペア 1回戦敗退
- 福島県高等学校新人体育大会
団体戦 1回戦敗退
個人戦 羽田・山下ペア 3回戦敗退（ベスト32）
大内・寺島ペア 2回戦敗退

◆バレーボール部

- 地区1年生大会 第3位

進路状況について

進路指導主事 加藤勝弘



学科が現在の三学科に編成されて今年で三回目の卒業生が社会へと旅立ちます。

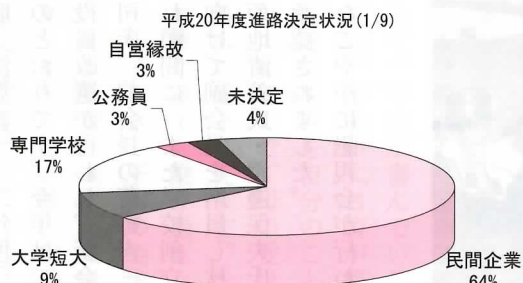
改編して最初の卒業生を出す際には各学科の学習内容等を企業の方々に理解していただくのに困難を要したこともありました。しかし、最近では建設系は都市システム、電気電子系は情報システムのエレクトリック・コンピュータコースというイメージが地元企業の方々に定着してきたようです。

本年度の状況ですが、就職に関しては大学生の内定取り消しなどがニュースで報道される中、本校ではそこまで厳しい状況は見られません。昨年度に比較すると幾分求人数は減り、また十月末における合格率はやや低下しましたが、十二月末において九五%の内定を得ることができました。今年は三年生全員がクラス単位で企業見学を行いました。実際の製造の現場を見ることで進路意識の高揚を図ったものですが、その効果は顕著に現れ積極的に就職活動を行う生徒の姿を見ることができました。

平成20年度 進路決定状況

学科名	民間企業	大学短大	専門学校	公務員	自営縁故	未決定	1/9現在 合計(卒業予定者数)
機械システム	49	7	12	2	2	3	75
情報システム	48	9	14	1	0	4	76
都市システム	23	1	6	3	3	1	37
合計	120	17	32	6	5	8	188

※民間企業就職は全て学校紹介による数を示す。



進学に関しては、一部の大学や専門学校では益々門戸が広がり、指定推薦人数も大幅に増えているのが現状です。

本校の進路指導におけるこれからの課題ですが、就職では来年度は今年より確実に厳しい状況であることが予想されます。今から様々な対策が必要と考えております。同時に卒業した生徒の企業への定着率を上げるような指導も必要かと考えております。進学については何よりも基礎学力の定着が重要ですが、同時に将来の就業に関する目標を持つことも肝要と思っております。就職、進学いずれにせよ在学中は学業、部活動、資格取得に励むとともに規則正しい生活を心掛けるよう指導し、全生徒の進路実現が成るよう指導していきたいと思っております。

高校生ものづくりコンテスト
2008東北大会に参加して

情報システム科 2年4組 三浦勇人

私は七月三十一日から八月一日まで山形県で行われたものづくりコンテスト東北大会に出場しました。初日は回路組立競技を行いました。会場がとても暑く大変でした。また緊張で手が震えたりしましたが、何とか完成させる事が出来ました。二日目はプログラミング競技を行いました。思っていた以上に問題が難しく非常に苦労しました。今大会に参加するにあたり約2ヶ月間、放課後残って練習をしてきました。結果はあまりよくありませんでしたが、とてもよい経験を積めたと思っています。



進路内定状況

会社 (学校紹介)・・・県内	佐藤燃料(株)	(株)椿本チェーン埼玉工場
AGCエレクトロニクス(株)	三光化成(株)	西武鉄道(株)
N O K(株)二本松事業場	三春工業(株)	東京ガス(株)
あだたら生コン(株)	住軽エンジニアリング(株)	東北電力(株)
アルス電子(株)	春日精工(株)	日清オイリオグループ(株)横浜磯子事業場
キタシバ技研(株)	松下電工(株)郡山事業所	日野自動車(株)
キヤノン電子(株)	水谷建設(株)東日本事務センター	公務員
コパテック(株)	川口内燃機製造(株)福島工場	自衛隊曹候補士
ジーエルサイエンス(株)	川俣精機(株)	自衛隊陸士
ソニーエナジー・デバイス(株)	天昇電気工業(株)福島工場	四年生大学
テクノメタル(株)	東日本電気エンジニアリング(株)	日本大学工学部
みちのく安達農業協同組合	東北江南(株)	日本工業大学
ライオン菓子(株)二本松工場	東陽工業(株)	いわき明星大学
阿武隈急行(株)	日昇工業(株)	短期大学
(株)CKF	日伸工機(株)	福島学院大学
(株)エイクラ通信福島工場	日特エンジニアリング(株)福島工場	専門学校
(株)キヌガワ郡山	日本電産コバル(株)郡山技術開発センター	テクノアカデミー郡山
(株)タカギセイコー東北工場	福島三協(株)	会津高等技術専門学校
(株)デンソー東日本	富士通アイソテック(株)	浜高等技術専門学校
(株)ニチソーサービス	福島キヤノン(株)	アミューズメントメディア総合学院
(株)ノブカワ福島工場	福島グラビア(株)	福島介護福祉専門学校
(株)ハネダユニテック	(株)前田製管	トヨタ東京自動車大学校
(株)ブレパック	(株)相原製作所	E S Pミュージックアカデミー
(株)ミルテック	福島サンケン(株)	郡山健康科学専門学校
(株)ライフーズ	福島プラスチックス(株)	郡山情報ビジネス専門学校
(株)佐々木電気商会	福島ルビコン(株)	作新美容専門学校
(株)山王東北工場	福島製鋼(株)	仙台情報工科専門学校
(株)山土地組	北芝電機(株)	郡山ビューティファッション専門学校
(株)春日工業所	北部通信工業(株)	東京法律専門学校仙台校
(株)小松製作所郡山工場	(株)吾妻プレス工業	東北歯科技工士専門学校
(株)湘南ユニテック福島工場	(株)山田土木	日産栃木自動車大学校
(株)大川電機製作所	(株)菅澤建設	日本工学院専門学校
(株)田口型鋼二本松工場	(株)飯田製作所福島工場	郡山職業能力開発校
(株)日高電設	(株)宮本技研工業	日本ウェルネス専門学校
(株)福島ワイヤー加工センター	会社 (学校紹介)・・・県外	国際エンターテインメント専門学校
(株)福島芝浦電子	シャープ(株)AVシステム事業本部	東北電子専門学校
(株)野地組	トーテックアメニティ(株)	音楽学校メジャーハウス
(株)HII機械システム本宮事業所	(株)サッポロライオン	国際アート&デザイン専門学校
(株)アマダエンジニアリング福島工場	(株)ブリヂストン那須工場	郡山ヘアメイクカレッジ
(株)サンライト	(株)栄工舎	
(株)ビス福島製造所	(株)本田技術研究所四輪開発センター	

同窓会 だより

総会報告

平成二〇年度総会は、猪俣校長先
生のご臨席を賜り八月九日（土）「パ
レスかねすい」にて行われました。

一九年度収支決算書・二〇年度予
算書は下記のとおりです。今年は二
年に一回の役員改選が行われ、新会
長に佐藤忠司氏、前会長の菅野吉三
氏が退任され顧問に、また学校創立
五〇周年に向けて副会長を増員し秋
山孝雄氏・菊地清義氏・渡邊保夫氏
が副会長へ承認されました。
総会后、なごやかに懇親会が行わ
れました。



平成19年度同窓会収支決算書

収入額合計 2,058,370円

支出額合計 1,573,982円

残額 484,388円

収入の部

科目	18年度予算額	18年度決算額	増減	備考
会費	965,000	960,000	△5,000	192人×5,000円
入会金	400,000	400,000	0	200人×2,000円
雑収入	4	334	330	預金利息
繰越金	698,036	698,036	0	
計	2,063,040	2,058,370	△4,670	

支出の部

科目	18年度予算額	18年度決算額	増減	備考
会議費	220,000	144,830	75,170	役員会、総会
行事費	70,000	22,500	47,500	入会式
通信費	70,000	31,500	38,500	ハガキ、切手
会報費	220,000	214,515	5,485	会報発行
慶弔費	60,000	8,000	52,000	香典、その他
記念品費	210,000	170,184	39,816	卒業記念品（証書バインダー）
後援費	220,000	175,600	44,400	激励金、広告
事業費	400,000	348,093	51,907	会報発送作業費、新実習機記念品
事業積立金	300,000	300,000	0	
事務費	260,000	158,760	101,240	データ有償管理費事務用品等
予備費	33,040	0	33,040	
計	2,063,040	1,573,982	489,058	

平成20年度同窓会収支予算書

収入額合計 1,673,000円

支出額合計 1,673,000円

収入の部

科目	20年度予算額	19年度予算額	増減	備考
会費	905,000	915,000	△10,000	181人×5,000円
入会金	396,000	400,000	△4,000	198人×2,000円
雑収入	177	3	174	預金利息等
繰越金	371,823	484,388	△112,565	
計	1,673,000	1,799,391	△126,391	

支出の部

科目	20年度予算額	19年度予算額	増減	備考
会議費	140,000	160,000	△20,000	役員会、同窓会総会
行事費	40,000	40,000	0	入会式
通信費	60,000	60,000	0	ハガキ、切手
会報費	200,000	220,000	△20,000	会報発行
慶弔費	30,000	30,000	0	香典、その他
記念品費	190,000	190,000	0	卒業記念品
後援費	200,000	350,000	△150,000	激励金、広告
事業費	300,000	300,000	0	会報発送等
事業積立金	300,000	300,000	0	
事務費	150,000	110,000	40,000	データ入力費・事務用品等
予備費	63,000	39,391	23,609	退会金等を含む
計	1,673,000	1,799,391	△126,391	

歳出予算科目に過不足が生じたときは、会長に諮（はか）り各科目間において流用することが出来る。

■ 平成20年度役員 ■

役 職	氏 名	卒業年度	学 科
会 長	佐藤 忠司	40	土木
	山崎 孝雄	39	機械
	丹治 茂雄	40	機械
	大内 正人	44	電気
	菊地 清義	44	電気
	津田 吉子	48	デザイン
会 計	渡邊 夫	41	土木
	齋藤 実	46	機械
監 事	大正 三	47	土木
	熊谷 勝則	49	土木
理 事	山本 久美子	55	土木
	佐々木 美子	57	デザイン
	大内 庄五郎	41	電子
	大星 光	42	機械
	阿部 昭一	42	土木
	安斎 喜一	42	土木
	本多 真一	42	土木
	野地 司	44	機械
	尾形 巳	47	電気
	高橋 芳	49	機械
	橋本 正	51	土木
	安齊 邦	54	機械
	鈴木 新	57	機械
	清水 実	57	電子
	高橋 周平	H5	電子
	尾形 浩美	58	機械
	小沢 源太郎	60	土木
	小嶋 義	48	土木
	原 彰	49	機械
顧 問	鈴治 和次	初代	会長
	阿藤 昭吉	二代会	会長
	菅野 三	三代会	会長
	猪俣 董	前学	会長
事務局 長	甲賀 豊光		
次 長	大柳 正		
局 員	高橋 三		
	國道 美行		
	渡邊 保夫		

選考委員会 委員 長 山崎 孝雄
委員 秋高 邦太
委員 安小 源保
委員 渡邊 保夫

会報委員会 委員 長 齋藤 実
委員 大正 三
委員 熊谷 勝則
委員 山本 久美子
委員 佐々木 美子
委員 大内 庄五郎
委員 大星 光
委員 阿部 昭一
委員 安斎 喜一
委員 本多 真一
委員 野地 司
委員 尾形 巳
委員 高橋 芳
委員 橋本 正
委員 安齊 邦
委員 鈴木 新
委員 清水 実
委員 高橋 周平
委員 尾形 浩美
委員 小沢 源太郎
委員 小嶋 義
委員 原 彰

丹新周美
治木橋道
丹新周美
治木橋道



■ 同窓会入会式 ■

第四四回同窓会入会式「平成一九年度」は二月二十九日、母校体育館で行われました。

菅野吉三同窓会会長より次の皆さ

創立五〇周年へ向けて



母校の存在・活躍を推進し、同窓会の活性化を図ろう。

松工創立五十年を目前に控えて心境は、「継続は力なり」の重みを痛感せずには居られません。

五十年の軌跡は一万有余名の同窓生を輩出する歴史を築き上げその間、幾多の社会、経済変動を乗り切り、社会構造の変化に順応し、学科再編を経験し今日に至っています。

今後少子高齢化が進み教育環境は、学校の統廃合や時代の潮流に合った対応が求められるものと予想致します。

今迄存在出来た事は学校関係各位のご努力の賜物であり、今後も存続する為に同窓会も、PTAや地方自治体等と共に連携を図り、その役割を果たす責務があります。

半世紀に亘る同窓会活動に数多くの役員の方々と活性化、母校への支援・協力等に真摯に語りあう

んが幹事に任命されました。

機械システム科一組 伊藤 智一
機械システム科二組 遊佐 勇人
情報システム科三組 土屋 ミキ
情報システム科四組 立花 英昭
都市システム科五組 齋藤 雄介

「安達太良山の雄姿と共に」

同窓会前会長 菅野 吉三

機会を得た事は感謝の念で一杯であります。

歴代会長のリーダーシップにより役員として多くの行事を通して松工へ協力をして参りました。

同窓会運営の特筆事項として、学校側の理解と事務局担当の諸先生方の熱意で、活動計画や役員人事を円滑に進めて来た事であります。

特に役員人事は大局的見地から、多くの情報や意見を頂き厳しい局面を乗り越え、今日の礎を築き上げた事は貴重な経験でした。

五十周年記念事業計画は諸関係機関と連携により進める役員には、松工の存在と同窓会の活性化の為に、最善のご健闘をお祈り致します。

同窓生各位におかれては、母校への訪問機会を自からつくり、榎戸の台地から観る安達太良山の雄姿を在学当時に、想いを巡らせ頂ければ幸甚であります。

結びに松工の発展と、皆様方のご健康とご多幸を念願しいさつと致します。

母校 だより



平成20年7月4日 カヌー 阿曾洸樹・國嶋 匠
平成20年度 全国高等学校総合体育大会 (08埼玉総体)



平成20年7月16日 情報システム科 三浦 勇人
高校生ものづくりコンテスト2008
東北大会 電子回路組立部門



平成20年9月4日 カヌー 嶋原健司 (写真下段左)
カヌースラロームジュニア世界選手権大会 (チェコ ロドニセ)
カヌー 松山 惇 (写真下段右)
第63回 国民体育大会カヌースラローム



平成20年12月12日 バドミントン 代表 國分雄介
平成20年度 第37回全国高等学校選抜バドミントン大会
東北地区予選会

個人情報保護法について

さて、皆様もご承知のとおり「個人情報保護法が」施行されます。私ども同窓会においても会員の皆様の個人情報について、管理の徹底・安全対策を充分に図って参ります。

なお、住所変更や個人情報についてのお問い合わせは、本会事務局にご連絡をお願い申し上げます。

福島県立二本松工業高等学校 同窓会事務局
tel 0243-23-0960



平成20年12月24日 カヌー 嶋原健司
2009 AYOFユース オリンピックフェスティバル
(カヌー スラローム競技) (オーストラリア シドニー)

編集後記

二本松工業高等学校の卒業生の人数が、一万人を突破いたしました。

昭和四十年三月に、工業高等学校の卒業生として、社会から熱望され、機械科と電気科の第一回卒業生が、社会へ巣立ちました。それから四十五年で、一万人の卒業生が社会へ立ちました。

今年の社会情勢は、昨年の金融危機に端を発した不況で、大変な船出となっていました。が、必ず経済界は良くなってきましたので、工業界の若い力で、活況のある社会を作っていくてくれることを期待いたします。なお、今回の会報は平成六年度(平成十五年度卒)の同窓生に、お送りいたします。会報の必要の方は、事務局までご連絡下さい。

会報委員長	丹治 茂雄
委員	鈴木 新栄
事務局	高橋 周平
	國道 美行